

要保護児童対策地域協議会講演会

子どもの心の発達に合わせた子育てのコツ

～ お父さんお母さん、ここは頑張ろう、そしてここは力を抜こう ～

日 時

2011年12月14日 10:00-11:30

主 催

貝塚市 要保護児童対策地域協議会

講 師

大阪彩都心理センター 竹田伸子（臨床心理士）

<http://saitokodomo.com/>

内 容

1. 心の発達に応じた関わり方

乳児期は「見つめ合う」関係、

幼児期は「横並び」で体験をなぞってあげる関係が必要です。

小学低学年では「自律性」を育む大切な時期。生活習慣づくりに力を入れましょう。

小学中学年では「客観性」が育つ時期。「ルール、秩序」を教え育てる工夫が大切です。

小学高学年は思春期の入り口。子どもの矛盾した主張にも慌てず「安全基地」になりましょう。

2. アタッチメント

子どもは親に「くっつく」ことで不安に対処しようとしています。

これをアタッチメントといいます。

不安な時、疲れた時、気持ちが落ち着かない時、子どもは母親にくっついてきますね。

自分よりも大きな存在に「くっつく」ことで、不安を安心に変えようとするのです。

抱っこしたり、身体をさすったりしながら、子どもの気持ちを整えてあげましょう。





3. 大事な関わり方1 「動脈」と「静脈」

親の関わり方には、「動脈」と「静脈」があります。

動脈的な関わり方、静脈的な関わり方、あなたはどちらが得意ですか。

「動脈」は比較的簡単ですが「静脈」は難しい。どうしてでしょう。

そこには、母と子の不思議なつながりが関係しているのです。

4. 大事な関わり方2 「秩序」と「社会性」

家庭に「秩序」をつくることは、親の最も大切な仕事の一つです。

この「秩序」が、家族の関係を安定させると同時に、子どもの社会性を育てることにつながります。

お父さんへの接し方、兄弟姉妹の育て方、学校でのトラブルへの対処の仕方、など

お母さんが「秩序」を意識して子育てをすると、こんな風変わってきます。

例をあげて、ご説明しましょう。

～*～*～*～ 参加者の感想から ～*～*～*～

- ・お話しがとても楽しくてわかりやすく、参考になりました。
- ・具体的で心にストンと落ちる内容で、聞いているだけで気持ちが楽になっていきました。
- ・母親として悩む部分や気持ちを竹田先生はよくおわかりで、素直にお話しが入ってきました。
- ・自分の子どもが泣いているのを聞くと怒りの感情が出るのが当たり前だと教えていただいて、とても楽になりました。
- ・心の発達がよく理解できました。「秩序」を意識して子育てしていくことの大切さを実感しました。
- ・子どもへの関わり方、今日から変えてみようと思います。